

活動の幅広く 慶應の今伝える

慶應塾生新聞会は、「慶應塾生新聞」という紙媒体を年11回発行しているメディアサークルです。2014年の7月に500号を迎えました。「公正中立」「不偏不党」を掲げ、塾内外のあらゆることを取り上げています。また大学に対しても公平な視点を保つべく、一切の金銭的援助を受けていません。

新聞会の名の通り新聞をつくっていますが、それだけではありません。ネット上での情報発信や、広告営業、新聞配布まで自分たちの手で行っています。見せ方も多様で、写真や動画といったジャンルにも挑戦しています。2014年の3月には震災の特集を組むなど、社会的な内容にも踏み込んでおり、活動の幅が広い団体です。

「良い記者になることは良い社会人になることと矛盾しない」と言っている人がいます。自分で考え、勉強し、話を聞き、それを表す。どれも社会人に欠かせない要素です。これからも塾生新聞会は慶應の「今」を伝えるために努力し続けますので、ご支援のほどよろしく願います。

慶應塾生新聞会



慶應唯一の公認 美術サークル

総合美術団体パレットクラブ



仰々しいのかかわいらしいのかよく分からない名前の付いたこのサークルですが、創立115年と歴史の深い美術系サークルです。福澤先生が名付けたという説もあるこの名前も、当時としては「ハイカラ」だったのでしよう。

昔も今も、名前はもちろん活動内容も変わらず「美術全般」とかなりざっくり。油絵水彩アクリル画といった絵画のほかに、陶芸・版画・七宝焼・パフォーマンス・刺繍・映像……と幅広く、個々人が自由に活動しています。そうした美術活動の場となっているのは、日吉にあるアトリエと呼ばれる場所で、他サークルとは完全に独立しています。個性の強いメンバーが醸し出す、自由な雰囲気と不思議な人間関係が閉じ込められたこのアトリエこそ、昔からパレットクラブの一番の魅力となっているのかもしれません。残念ながら部員以外の人が気軽に入れるような場所ではありませんが、もし身近にパレットクラブに関わりのある人がいればアトリエについて聞いてみてください。きっと面白い話が聞けるでしょう。